

お風呂場 では…



- 一番風呂で脱衣所や浴室が
あたたまっていた。
- 熱めのお湯につかってしまった。
(温度差による急激な血圧の変動は危険です)

ヒートショックをおこさないために



- 湯はり時に浴室をあたためましょう。
- 湯温は41°C以下にしましょう。
- 湯につかる時間は10分までを
目安にしましょう。

いざというときのために

あつぎ健康相談ダイヤル24
0120-31-4156

市民の皆様に限定したサービス。
電話での健康相談と医療機関の情報提供
等を行っています。
24時間、年中無休、通話料無料。

セーフコミュニティあつぎ

セーフコミュニティとは

事故やけがは、偶然の結果ではなく予防
できるという理念の下、地域住民と行政等が
協働して「地域の誰もがいつまでも健康で安
心・安全に暮らせるまち」を創ろうという取
組です。

高齢者の安全対策委員会

高齢者の不慮の事故によるけがを防ぐた
め、転倒予防のための運動活動や住宅改修
工事の助成などを行っています。

- 転倒予防のための運動活動・普及啓発
- セーフティ住宅支援事業(手すりの設置など)

高齢者のための

安全のしおり

いつまでも元気でいるために

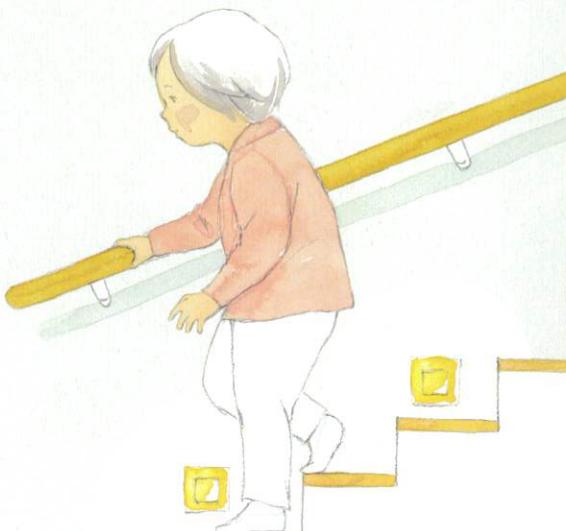


階段 では…



- 足を滑らせてしまった。
- 踏み外してしまった。
- 取り込んだ洗濯物で足元が見えなかった。

転落をしないために



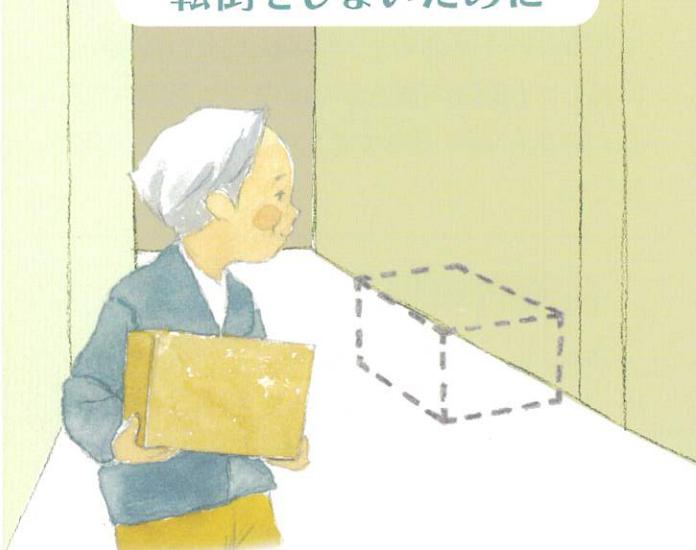
- 手すりやすべり止めを設置しましょう。
- 照明などで足元を明るくし、
足元をよく見て降りましょう。

居室 では…



- 敷居の段差に気付かなかった。
- 布団のすき間に足を入れてしまった。
- 廊下に落ちていた物でつまずいてしまった。

転倒をしないために



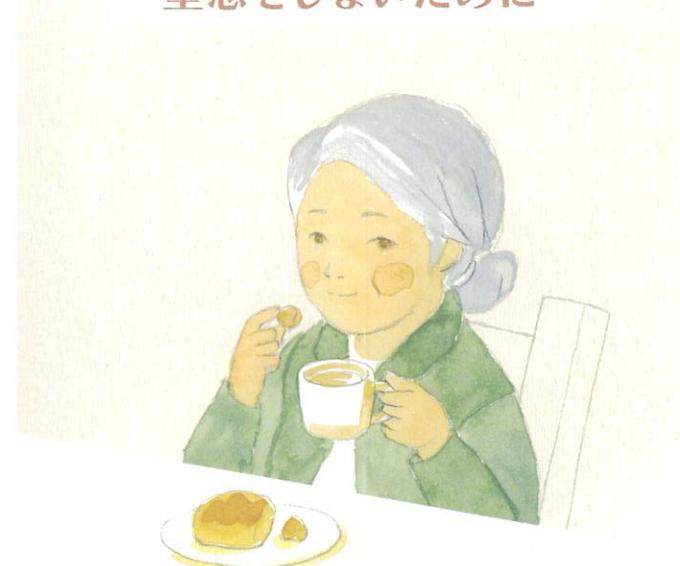
- 部屋の中の段差を解消しましょう。
- 通路に物を置かないようにしましょう。
- お風呂場にも手すりや
すべり止めを設置しましょう。

食卓 では…



- 電話が鳴ったので慌てて飲み込んだ。
- パンを食べていたい口の中が乾いてしまった。
(加齢により唾液の量が少なくなり、窒息する
危険が高まっています)

窒息をしないために



- よく噛みましょう。
- 水分をとりながら食事をとりましょう。
- 食材は小さく切って食べましょう。